

Never allow US-Japanese War on CHINA in solidarity with the fighting people of Asia!

闘うアジア
人民と連帯し

米日の中国侵略戦争阻止

4・12

入管法・民族差別を撃つ 全国交流集会

4月12日(土) 正午開場 午後1時開会 武蔵野公会堂ホール

トランプ・石破たおせ!

「改悪入管法粉碎」「難民を強制送還するな」と東京入管にデモ (2024年12・23)



2024年11・3労働者集会で国際連帯を訴える



吉祥寺駅南口徒歩2分 資料代500円

主催：入管法と民族差別を撃つ全国実行委員会

東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル4F
TEL: 090-1258-6201

Smash the immigration law and immigration system!

難民排斥・永住権剥奪の 改悪入管法・入管体制粉碎



●再登場したトランプは、中国を「最も強力な危険な敵」と呼んで、すべての力を中国侵略戦争に投入するために、「ウクライナ停戦」を力づくで進めています。同時に「ガザ所有」を宣言してイスラエルを後押ししガザ空爆を再開、3月18日には**400人以上のパレスチナ民衆**を虐殺させています。世界は「平和」ではなく、侵略と世界戦争へまっしぐらに突き進んでいます。

●トランプはさらに、日本に対しても「もっと金を出せ、血を流せ」と言って、この中国侵略戦争の**最前線に立つこと**を激しく要求しています。それに対して石破政権は、そこにどんなに矛盾と対立があっても、帝国主義として延命するために、日米安保を強化して、大軍拡で中国侵略戦争に積極的に参戦しようとしています。絶対に止めなくてはなりません。

●こうした中でトランプは、パレスチナ連帯を闘う留学生を強制送還する大統領令に署名し、「扇動者」を投獄すると宣言。パレスチナ連帯闘争の発火点になったコロンビア大学への補助金4億ドルを停止。「ハマスと連帯し抗議デモを主導した」とパレスチナ人学生**マフムード・カリル**さんを逮捕して、永住権の無効化を通告しました。トランプは「多くの逮捕の始まり」だと宣言して、デモ参加者を突き止めると発表しています。

●すでに世界の難民は**1億2千万人**を超え、米欧日の帝国主義各国が、移民・難民への排斥・襲撃に走り、帝国主義間の対立も激化させながら

中国侵略戦争—世界戦争へと突進しています。

●しかし、アメリカの学生・労働者はこうした逮捕と弾圧にひるまず、ただちに**全米各地で抗議デモ**をたたきつけました。ヨーロッパ各地でも、極右の台頭に、十数万人の反差別・反排外主義のデモが爆発しています。日本でも、京大で反戦闘争を闘った学生7人を逮捕した**京大弾圧**をうち破って、中国侵略戦争阻止の反戦闘争へ、青年・学生・女性の新たな決起が始まっています。

●米日が中国侵略戦争にかじをきって以来、日本の入管法・入管体制は、「外国人は煮て食おうと焼いて食おうと自由」（65年法務省参事官・池上努）という本質がむき出しになっています。昨年6月に施行された改悪入管法では、難民申請が3回以上の方は裁判中でも**強制送還可能**とし、さらに**永住権剥奪**を盛り込んだ改悪入管法の27年施行が狙われています。「日本の国益に沿わない」という入管の勝手な判断のみ（司法の介在もなく!）で永住者であっても国外追放するというのです。今国会での「高校無償化」でも朝鮮学校排除が貫かれています。在日朝鮮人・中国人を標的にした戦時入管体制の構築そのものです。

●在日外国人労働者は**230万人**を超えました。在日・滞日外国人労働者と団結して米日の中国侵略戦争阻止の闘いを実現しよう! 入管法と民族差別を撃つ4・12全国交流集会にぜひ参加してください。

